

同窓会長就任にあたって



黒澤 賢治
(群馬県 25期)

伝統ある「鯉淵学園同窓会会長」の責務を、西村前会長から継承する事になりました 25 期群馬県出身の黒澤でございます。

学園の現状につきましては周知の通り、学園経営を実践する「公益財団法人鯉淵学園」（茨城県認可）の永年にわたる経営的課題（脆弱な財務基盤）と少子化が急激に進行し、既存大学においては多くが定員不足に陥るなどといった実態に直面しており、本学園でも各県農林大学校や農学・栄養系大学との競合が進行し「学生不足」が顕在化し、多くの教育的資源（研究施設・実習施設・実習農場・学生寮等）は維持する事が極めて困難な実態を迎えるに至っております。

先輩諸兄や有識者のアドバイス等を頂く中で、経営母体の健全化策の投入や教育面では学科の再編強化に取り組み、建学の教育理念実現に万全を期して教育改革を進めております。

コロナ禍が継続した3年余、各県の同窓会支部活動や期別同窓会・学科別同窓会等は計画中断を余儀なくされ、辛うじてコミュニケーションを繋ぎ止める策に奔走し、空白期を悶々と過ごして来ましたが、コロナ規制の解除により各種の「集い」も実施計画が具現化しつつあるとの知らせが入って来ております。

総会開催も書面議決による総意把握策を取り、今回、役員改選までこぎつけた次第であります。まずは、全国各都道府県の「鯉淵学園同窓生」への情報発信と共有化を目指し「同窓会の再起動」に全力を傾注する事、加えて、あらゆる機会を通じ同窓生の連帯強化や都道府県同窓会の開催支援を図ってまいりたいと考えます。同窓会運営の中核をなす「常任委員会」を早期に開催し、3年余に及んだコロナ禍による空白期間を埋めなおし「同窓会運営」を実現していきたいと切望する次第であります。

選任を頂いた支部長・常任委員も、20期代から50期代で構成しておりますので、スピード感をもってその任にあたるべく努力を重ねる所存でありますので、変わらぬ御支援を賜ります様お願い申し上げます、就任の御挨拶と致します。